

堤防の管理って 大変なのです！



★ はじめに

こんにちは、揖斐川第一出張所の広報誌「揖斐川第一出張所」だよりです。
さて、今回は堤防の管理について、お話したいと思います。

★ なぜ、堤防の法面に芝が張ってあるの？

皆さんは、なぜ堤防の斜面（法面）に芝が張ってあるのかご存じでしょうか。

それは、盛土による堤防の法面を芝等で覆うことにより、降雨や流水等による法崩れや洗掘に対して**安全**となるからです。

しかし、急流部、水衝部等、流水や流木等により法面が浸食されやすい箇所は、芝を張るだけでは十分ではありません。この場合は、堤防の表法面（流水が当たる所）に石張りやコンクリートの護岸を設けます。

★ 井ノ口橋兩岸天端の舗装の理由は？

堤防は、原則として近隣において得られる土の中から堤体材料に適した山土、川砂等を利用して盛土して作られています。しかし、雨水が堤体へ浸透すると法崩れが発生したり、堤体の弱体化が進行するため、浸透抑制や河川巡視の効率化等の観点から、堤防天端の舗装を進めています。

また、堤防天端道路の舗装にクラック等が発生すると、そこからは雨水が浸透するため、適切に維持管理するようにしていますが、ほとんどの堤防天端道路が公道になっていることから、河川パトロール等でクラック・ポットホールを発見した場合、随時道路管理者に適切な維持管理を行うようお願いをしています。

それと皆さん、重量オーバーの車両の通行、暴走行為は天端道路の路面を痛め、そこから雨水が浸透し、堤防が弱体化するため、そのような行為は絶対に止めましょう！

★ 堤防の除草はなぜ行うの？

では、なぜ堤防の除草を行うのでしょうか？

それは、

- ① 堤防の除草を行うことにより、堤防法面の状態を把握しやすくなり、「堤防法面の崩れ、亀裂、漏水等」を早期に発見し、正常な状態に補修することができる。
- ② 洪水時に水防活動を容易に行うことができる。

③ 景観を維持し、河川の親水性を保つ等環境保全を図ることができる。

④ 害虫の発生・繁殖を防止することができる。

⑤ 枯れ草による火災を防止することができる。（でも、タバコのポイ捨てはやめましょう！）

⑥ 不法投棄の抑制に繋がる。（だからと言って空き缶、ガム、お菓子の袋等のポイ捨ては絶対にやめましょう！これらのゴミを処分するために多くの貴重な税金が使われています！）



⑦ 堤防周辺の生活環境の悪化の防止に繋がる。等の理由からです。

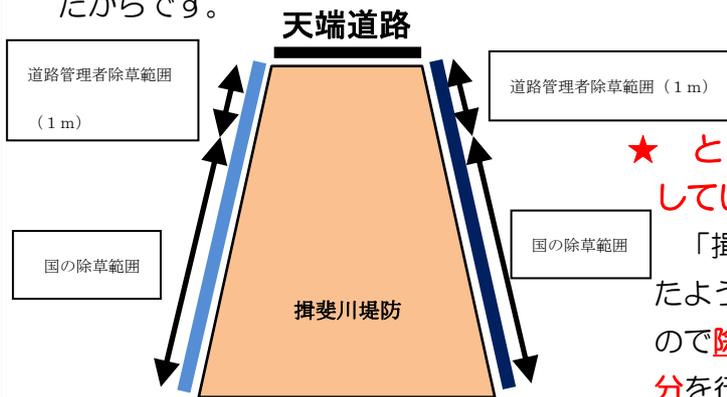
★ 堤防除草の実施方法は？

堤防除草は、広く障害物のない法面は、主に大型除草機械（ハンドガイド式）で行い、狭い箇所、障害物がある箇所は肩掛け式除草機により、川表・川裏を2回/年実施しています。

また、河川管理者が管理する堤防道路（河川管理利用通路）では川表・川裏を1回/年実施します。

次に、自転車歩行者専用道路や堤防天端道路が町道・市道・県道に指定されている箇所、周辺河川敷公園等で占用している箇所は、各占用者が除草を実施しています。

参考に、堤防天端肩の草を残して法面の除草作業を行っている様子を見かけることがありますが、それは肩から1mは道路管理者が除草を行う範囲だからです。



大型除草機（ハンドガイド型）による堤防除草



肩掛け式除草機による堤防除草

★ ところで、堤防のあちらこちらで自生しているオオキンケイギクは

「揖斐川第一出張所」だより第1号でも掲載したように、オオキンケイギクは特定外来生物ですので除草前に抜根し、ビニール袋に入れて焼却処分を行っています。特に開花し、種ができる前までには、繁殖を防ぐため抜根作業をします。

★ 堤防の刈草を有効活用しませんか！！

揖斐川第一出張所管内（左岸：揖斐川町、大野町、神戸町、大野町、右岸：揖斐川町、池田町、神戸町、瑞穂市呂久）の堤防除草は、堤防を健全な状態に維持・管理するために、梅雨期前と台風期前の2回/年実施し、それぞれ除草後に、集草・運搬・焼却の手順で作業を行っています。

揖斐川第一出張所管内の堤防除草では1億円に近い膨大な予算を使用し、発生する刈草約2,400m³を毎年焼却しています。

刈草を有効利用することは予算の削減に繋がると共に、ずばり地域で生まれた刈草だから地域農業の活性化に役立ちます。

- ① 提供する刈草は除草剤を使用していないので、安全な農作物の栽培等に役立ちます。
- ② 無料提供なので、稲わらの購入費が節約でき、農業経営の活性化に役立ちます。
- ③ 焼却をしないので、地球温暖化に繋がらない。

皆さん、是非堤防の刈草の有効利用にご協力をお願いします。

